

平成28年度 有限会社春うらら 職員能力向上研修プログラム

月	時間	研修テーマ	講師	具体的内容	目標と期待される効果
4月14日	2時間	介護保険法と職業倫理	森山先生	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度のこれまでの経緯 改正後の留意点 平成27年度から30年度までの改正の概要 地域包括ケアシステムについて 	制度改正の要点とそこから見てきた、日本の介護保険制度が向かう将来像と今後の介護事業の方向性を理解することを目標とする。地域密着型サービスなどを理解し、利用者の安心と信頼を築くことが期待される。
5月12日	2時間	ご利用者様の尊厳を守るケア	森山先生	<ul style="list-style-type: none"> 利用者とのコミュニケーション方法 傾聴のポイント 利用者本位のサービスについて 	介護職員が人生の先輩である利用者への接し方について尊厳を通じて学ぶことを目標とする。利用者への接し方、携わり方などを習得し、利用者本位のサービス提供が行われる事が期待される。
6月17日	2時間	ターミナルケア	介護労働センター	<ul style="list-style-type: none"> ターミナルケアの基本原則と理念について ターミナルケアの実際 ホスピスケアについて スピリチュアルペインについて 家族への支援 	死をまじかに迫った人に対して行われるターミナルケアについての基本原則や理念、家族に対する支援を学習し、ケアに対する知識を養う事を目標とする。死が迫っている利用者に対してターミナルケアの知識を養い、終末期の心理面、社会面、環境面などで安心感を与えられる事が期待される。
7月14日	2時間	苦情相談・クレーム対応	森山先生	<ul style="list-style-type: none"> 利用者、家族の感情の理解 謝罪するか否かのポイント 介護現場における苦情内容の現状 介護現場における問題解決の方法 利用者の対応満足度 	利用者のサービス提供に関するクレームに対して介護職員が適切な対応ができる事やクレーム処理の方法を増やす事を目標とする。苦情を早期に解決する事で不満が軽減できサービス提供の満足度が高まる事が期待できる。
8月16日	2時間	高齢者の疾病と緊急時の対応	介護労働センター	<ul style="list-style-type: none"> 緊急対応の基礎知識 リスクマネジメント 緊急時の対応方法 身体拘束に対する緊急対応 緊急時の対応演習 	介護現場における緊急時の対応やリスクマネジメント体制を構築する事の重要性を理解する事を目標とする。発生したリスクに対して適切な対応行動がとれるようになり、利用者への緊急時のリスクを軽減できることが期待される。
9月8日	1.5時間	身体拘束防止 高齢者虐待防止	森山先生	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者虐待防止法について 虐待の種類 身体拘束について 成年後見制度 	高齢者虐待防止法を基に利用者の権利擁護を理解し、虐待の理解を深めることを目標とする。利用者へのサービス提供時に権利擁護に対する意識を持つことで虐待行為を防ぐことが可能になり、安心な生活を送る事が期待できる。
10月12日	2時間	認知症ケア	介護労働センター	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の基礎 認知症の方への関わり方 認知症の困難事例の対応 	認知症の原因となる病気を知り、専門職として必要な知識を得て、困難事例を検討することで認知症の方のケアの実践を学ぶ事を目標とする。パーセントケアを理解し、チームケアの目的と実際を理解することが期待できる。
11月15日	1.5時間	感染症の予防と対策	介護労働センター	<ul style="list-style-type: none"> 感染症予防とは 感染症予防の基本 利用者への感染対策 介護職員への感染対策 	感染症の基本的内容を理解し、ケアに携わる現場の場面ごとに感染対策のあり方について理解することを目標とする。感染症に対する基本知識を養い利用者の感染のリスクが軽減する事が期待される。
12月15日	2時間	チームケアのあり方	森山先生	<ul style="list-style-type: none"> チームアプローチの意義と目的 多職種連携の必要性 報告・連携・相談の重要性 チームの能力を知る チームケアの実践演習 	利用者の自立に向けた介護サービスを提供する為には、職種間におけるチームケアが必要になる事を理解する。多職種、介護チームの連携がとれる事により、利用者の自立支援が高まる事が期待される。
1月16日	1.5時間	介護技術スキル	介護労働センター	<ul style="list-style-type: none"> ボディメカニクス 残存機能を活かした引き出す介助 ADLに合わせた個別の介助方法 福祉用具の名称、使用方法 	自立支援に繋がる残存機能を活かした介助方法を養う事を目標とする。利用者の持てる力を引き出す事ができるようになり、利用者自身も自立性が高まる事で生活に生きがいを感じられるようになる事が期待される。
2月16日	2時間	介護専門職人材の育成スキル	森山先生	<ul style="list-style-type: none"> 介護専門人材の育成スキル 良いケアを引き出すための指導 聴くスキル 質問のスキル 承認のスキル 	人の能力ややりがいを引き出す技術を理解し、現場でコーチングやOJTが活用できるようになる事を目標とする。コーチングやOJTによって能力ややりがいを引き出したスタッフからサービス提供を受けた利用者のQOLが高まる事が期待される。
3月16日	2時間	ヒヤリハット・リスクマネジメント	森山先生	<ul style="list-style-type: none"> 介護現場の事故の種類 考えられるリスクの予測と洗い出し 発生した場合の処理方法の考え方 事故を未然に防ぐケアマネジメント 	サービス利用中の事故並びに事故防止に繋げるケアマネジメントについて学習しリスクに対する理解を深める事を目標とする。利用者が安全にサービス提供を継続して利用できる事が期待される。